

Glacial

ローカル×グローバル
高校生の新たな学び方
Action News

学校法人 森教育学園
岡山学芸館高等学校



Special Topic

1年生の学びがスタートしました!

グローカル課題研究Ⅰの授業の特徴は、何といってもシャッフルクラスでの学びです。すべての科・コースがシャッフルされて同じクラスにいるので、自分とは違う多様な価値観や考え方が議論の中で出てきます。コロナ禍ではありますが、感染対策をしっかり取りつつ、お互いの意見を話し合うアクティブラーニング型の授業展開をして、生徒たちの主体性を伸ばしていきます。

変わりゆく社会を認知する

初回の授業では、自己紹介ゲームを通して交流を深めたのちに、「リーダーシップとは?」について考えていきました。世の中は



Society5.0 の世界になりつつあり、社会はどんどん変化していっています。社会変化が生じている背景や理由について学んでいき、今後はどのような社会変化が必要になってくるかを議論していきました。



うジレンマをどのように解消していくのかについて議論していました。また、社会において実際に活動をされているグレタ・トゥンベリさんや中村哲さんの事例を通して、SDGsについての理解を深めました。

社会課題への距離感を縮める

社会にある問題や出来事をより正しく認識するための 5 つのポイントについて学んでいきました。①万物は変化する、②自分が自分であること、③名も知らない大切な他人、④偏見、⑤全体像の重要性の 5 つです。これらのポイントを理解した上で、グレタさんの活動やBTS法についてより理解を深めていき、どこか遠い世界の話に感じる社会課題に対して、距離感を縮めていきました。

SDGs を身近に感じよう

世の中をより良くしていくための国際的な取り組みである、SDGsについて学んでいきました。「誰一人取り残さない」をテーマに、どのような発展をしていくことが持続可能な開発になっていくのかについて考えていきました。SDGs を身近に感じてもらうため、カードゲームを通して、経済発展に伴



令和3年度2年生 23 ゼミ一覧



希望選択制のゼミが開講しました。生徒全員が、将来の夢、大学進学へのステップ、漠然とした社会問題への危機感、子供の頃からの興味、自分のルーツ探し等、様々な想いを持って希望のゼミを選択しました。教員も教科の壁を越えて、生徒の皆さんとの熱い想いに応えるよう、皆さんの研究活動を一年間しっかりとアシリテートしていきます。どうぞご期待ください!



文化・コミュニケーション多様性ゼミ

「この社会は多様性に富んでいる」なんではなくは感じていても、案外わかっていないもの。実際にどんな人々が暮らし、どのような課題を抱えているのか?言語、学校、職場、様々な切り口で多文化に触れ、より良い共生社会のために高校生ができるこを探求する。



幼児教育ゼミ

幼児教育を取り巻く問題について、社会情勢を鑑みながら解決を目指す。保育園や児童養護施設等でのフィールドワーク、知育玩具や絵本の製作、幼児の行動・心理について専門家を交えての討論等、発見した問題に対して実践的なアプローチで解決策を探る。



スポーツ社会ゼミ

昨年度の「外国人技能実習生の抱える問題点をスポーツの力によって解決できるのか」という内容に、子どもの運動量減少という現状にも焦点を当てていく。「外国人技能実習生 + 幼児教育・学童保育 + スポーツ」という観点でアクションプランを策定していく。



法律・司法ゼミ

社会問題を法的な思考力(リーガルマインド)に基づき、理解・分析する力を身に付けることを目標とする。刑法、刑訴法等を利用し、法令の条文の読み方、裁判の流れ等を学ぶ。警察官、弁護士を志望する生徒に向け、適時官公庁への訪問等を行う。



ソーシャルビジネスゼミ

社会課題解決を見据えた商品やビジネスプランを考案する。考案したものをいかに現実的なビジネスへ昇華させるかを専門家の授業を通して学ぶとともに、自らのアイデアを魅力的にプレゼンテーションする方法を追求し、様々なコンテストでの入賞を目指す。



社会経済システムゼミ

経済活動について国際的な繋がりが必要不可欠になっている現状から、岡山の産業のこれからについて考察する。岡山の産業構造を明らかにし、岡山の企業の国際化の是非やそれに伴う社会の変化についても注目する。



政治・行政ゼミ

現代社会はニーズが多様化し、問題が複雑化しており、政治・行政に対する国民の期待は大きい。今年度は少子化問題やマイノリティに焦点を当てる。ヒアリングなど実践的活動も行いながら社会問題、政策に対する理解を深め、解決策の提言を目指している。



次世代教育探究ゼミ

小学校でSDGsをテーマにした出前授業を実施。社会問題解決のためにできることを小学生と一緒に考え、具体的な行動を促していく。また、授業案や授業動画を掲載したポータルサイトを作成する。さらに変化が著しい教育の今後についてグループに分かれて探究する。



社会福祉システムデザインゼミ

少子高齢化の進展に伴い福祉問題が大きな課題となっている。子どもから高齢者に至るまで、健康かつ幸せな生活を送るために、食事・運動・福祉サービスの充実が不可欠だ。本ゼミでは栄養学、児童・高齢者福祉のあり方など、多角的かつ実践的に福祉問題の追及を行う。



国際観光・地域観光ゼミ

新型コロナウイルスの影響で、観光産業は大打撃を受けている。本ゼミでは、アフターコロナにおける観光業・旅行業のあり方について考える。「観光」が社会に与える影響や効果を総合的に学び、これからの社会作りに観光が担えることを考察する。



地域活性化ゼミ

高齢化などに伴う地方衰退は全国的な課題である。本ゼミでは西大寺の五福通りを舞台に活動をおこなう。ヒアリング活動やフィールドワークを実施。さらには地域の人々と協働をしながら活性化に向けたイベントの企画・運営を予定している。



自然環境調査ゼミ

野外調査を主として研究をすすめるゼミであり、調査対象は植物、昆虫、土壤微生物、魚など自分の興味のある生物を自由に調査する。調査で得られたデータを基に、さまざまな評価を行い、自然に対する理解を深める。



芸術・デザイン・音楽ゼミ

特定の芸術分野だけでなく、芸術性、創造性に富んだ発想で、社会問題を解決していくことをテーマとしたゼミ。具体的には教育現場でのユニバーサルデザインの普及を提言する。また芸術のもつ普遍的な共感力を活かし、他ゼミとの連携活動を企画している。



建築・空間デザインゼミ

このゼミでは建築物が持つ社会的役割の意味や建築物内における空間デザインについて考察します。地域活性化や都市計画なども建築という視点から捉えると新たな視点がたくさんあります。地元で西大寺のまちづくりにフォーカスしたフィールドワークも行います。



歴史・地理探究ゼミ

歴史地理探求ゼミは今年度より新設されたゼミで、様々な観点から歴史を紐解き、歴史を人類の物語として理解することを目的としている。今も続く国際紛争の原因や、地名から読み取れる地域の歴史など自身の興味をもとにした研究を進める。



物質科学探究ゼミ

身の回りにはたくさんの物質があふれている。現代の便利な生活は、その物質の性質によって支えられている。本ゼミでは、その性質を化学実験を通して調べていく。また、その過程で各自テーマを設定し、新しい発見ができるようになることを目標としている。



循環型社会形成ゼミ

5R (Refuse・Reduce・Reuse・Repair・Recycle) のあり方を模索し、これから循環型社会システムのあり方を研究する。また研究した活動を発表する等、環境教育を通して、これらの循環型社会について考える機会をつくる。



宇宙・地球探究ゼミ

宇宙や地球に関する課題を調査し、改善策などを考えていく。外部の研究機関の活動やワークショップなどにも参加し、高校生が参画することができる宇宙の課題解決を目標とする。また、「宇宙を学ぶ」だけでなく「宇宙を教科書にして学ぶ」ことにも挑戦する。



栄養・保健ゼミ

パフォーマンス向上のため、何を、いつ、どれだけ、どのように摂取するか。子どもたちの貧困を高校生の立場でサポートするにはどうしたらよいか。日々の食事や生活を出発点に、栄養保健の観点から誰もが健やかに生きてゆくためのヒントを探る。



シミュレーション活用ゼミ

本ゼミでは身の回りの現象を単純化・モデル化し、シミュレーションを行う。実際に模型を作成したり、プログラミングしたり、数理処理を行ったりと、普段授業で学ぶ知識を総動員して、シミュレーション手法や、得られたデータの解釈の仕方などについて学ぶ。



医療・看護ゼミ

SDGs の 3 「すべての人に健康と福祉を」に焦点を当てて、各課題に取り組んでいる。テーマは、予防医学、心理・精神、感染症、理学療法、国際看護など多岐にわたる。



海洋研究ゼミ

里海の聖地と呼ばれる日生町鹿久居島で干潟生物多様性に関する研究を始めて5年目。今年度はベントス優占種であるウミニナの季節動態やアマモ実生に関する調査研究に取り組み、各種学会で発表する。さらに、一人ひとりが課題を設定し、研究活動に取り組む。



教育(認知科学)ゼミ

このゼミでは、日常における様々な“失敗”をテーマに活動している。まずは、分析のしやすい数学のテストを通じて失敗の原因を探り、失敗がなぜ起こるのかを考察した。そこでの経験をもとに、それぞれの興味のある分野の失敗について調査と分析をする予定である。



Topic 1 昨年度3月、現在3年生の海洋研究ゼミグループ 全国大会で日本財団賞を受賞しました!

昨年度2M 海洋研究ゼミの六車さん・岡本さん・竹本さん・水田君・板野君のグループが、マリンチャレンジプログラム全国大会にて、最優秀賞に次ぐ「日本財団賞」を受賞しました。地元の干潟への実地調査、実験デザインや考察の深さ、研究の継続性など、様々な観点から高く評しています。



ただきました。

この研究は、大会主催者の研究アドバイザー、漁港の方々、先輩の活動など、様々な繋がりに支えられていたからこそ成り立っています。医進サイエンスコース6期生から始まり、研究のバトンは今年度2年生である11期生へと渡されることになります。

研究では「牡蠣殻を利用した攪乱された干潟における生物多様性向上の可能性」「干潟の大きなダイナミクス」を垣間見ました。自然現象をはじめとした多くの事柄は互いに様々なものと繋がり、複雑なネットワークを築いています。それらは刻一刻と変化し、様々な表情を見せます。ある角

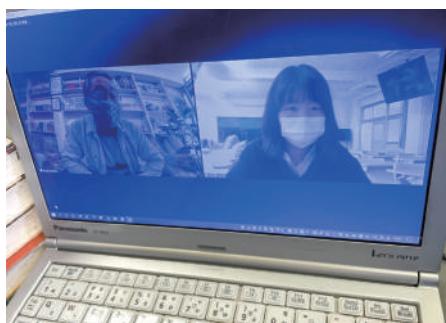
度の一つの視点や限られた区間だけ切り取っても、全体像は見えません。時には多角的に、俯瞰的に物事を捉えて全体の繋がりに目を向け、時には近くに寄って微細な特徴を知ることが大切です。普段の勉強も、色んな人に出会う体験をすることも、この課題研究も、こういったモノの見方や捉え方の訓練となると思います。

11期生は「干潟とアマモ場」という広いシステムで研究をするようです。今後も進化する海洋研究の活動が楽しみです。



Topic 2 外部連携でさらに可能性が広がっていきます 校外で解決のヒント探し! グローカル2の外部連携のご紹介

地域活性化・建築・空間デザインゼミ
学芸館から徒歩10分にある五福通り。看板建築を代表とするレトロな街並みがあり、映画のロケ地にも使われる一方、住人の高齢化などにより景観の維持が困難になっているという問題を抱えています。生徒たちは問題を解決するため、まずは現地を訪問して観察し、その後商店の経営者の方へオンラインインタビューを実施しました。現在、解決策のヒントを探っています。



文化・コミュニケーション多様性ゼミ
岡山大学文学部の中東靖恵教授をお招きして、地域に暮らす外国人と多文化共生を取り巻く課題についてお話を伺いました。全国・岡山での外国人増加の現況や、外国人が抱える課題、総社での日本語教育を中心としたコミュニティネットワークづくりについて、専門家の観点で生徒にわかりやすく導入して頂きました。この情報をもとに、テーマの掘り起こしを始めています。



法律・司法ゼミ

Zoomにて、全国模擬裁判選手権岡山予選に出場しました。刑事事件に係るその証拠が何かについて、意見を交わしました。残念ながら、全国大会への出場は逃しましたが、法律について考える良い機会となりました。より深く法律を勉強して、来年に挑みたいと思います。

